

# 議会だより

No.112 平成21年12月定例会 1月15日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

## 主な内容

○議長新年あいさつ……………	2
○12月定例会……………	2
○予算特別委員会……………	3・4
○一般質問……………	5～9
○常任委員会審査報告…	9・10
○委員会視察報告……………	11・12
○置病議会報告……………	13
○置広議会報告……………	14
○請願審査結果表・編集後記……………	14

## 謹賀新年



『基礎・基本』を身につけ  
ワンランク上を目指そう

### 元気にがんばる子どもたち(15) 宮内ソフトテニススポーツ少年団

宮内ソフトテニススポーツ少年団は今年で7年目を迎えます。ソフトテニスを通じ、生涯スポーツとしてソフトテニスに親しみ、互いに交流を深めながら、それぞれに応じた競技力の向上を目指しています。小学生から中学生まで毎週3～4回の練習をしています。最近では2年連続して全国小学生大会に1ペア出場し、昨年は県選抜に入り、団体戦で全国ベスト8に入賞しました。

市内の方はどの地区でも入団できます。ソフトテニスに興味のある方は是非見学して下さい。



## 新年のごあいさつ

南陽市議会議長

伊藤 俊美

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成22年の初春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は市民の皆様方のご理解とご協力によりまして、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励し、市政の発展に全力を尽くすことができましたことについて心から感謝申し上げます。

具体的には開かれたわかりやすい議会を目指し、議会、たよりの充実に始め、より身近な議会、市民の期待に応える議会へ今後とも改革に努めてまいりたいと存じます。

さて、世界的な経済不況はわが国にも大きな影響を与え、賃金カット、失業・就職難、消費の低迷等かつてない急激な経済の停滞をもたらしています。これまでに抱えている少子高齢化や環境問題を含め長期化する経済不況は、市民生活の根底に関わる社会保障制度へも極めて大なる影響を及ぼし、さらなる生活の不安定をもたらしています。

本市においても市民生活に直結した道路や環境整備の推進をはじめ、農業・商工業や観光の振興、少子・長寿社会に対応した施策の展開、教育問題や災害の危機管理等、取り組むべき多くの課題を抱えています。議会といたしまして、議員の責務と役割を深く認識し、意欲的な議会活動を通じて、これからの時代にふさわしい地方自治の確立に全力で取り組んでいきたいと存じますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、南陽市そして市民皆様にとりまして素晴らしき年になりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

## 12月定例会

12月定例会は4日から21日までの18日間の会期で開かれ、提出された議案は、諮問案1件、条例案4件、補正予算案7件の計12件でそれぞれ原案のとおり可決されました。

一般質問は9議員が行い市当局の考えを質しました。

### ▲諮問▼

○人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて

任期満了に伴う選任

森谷 和子(再任) 三間通一〇一

小関 敬子(新任) 竹原四二〇一

### ▲条例▼

○南陽市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税課税免除条例の設定について

○南陽市立赤湯学童保育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市総合保健福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市企業誘致促進条例の一部を改正する条例の制定について

## 議員発議

○核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の提出について

## 第2回臨時会

11月20日、臨時会が開かれ、条例・その他7件、補正予算1件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

南陽市立宮内中学校改築整備事業工事請負契約の締結については以下のとおりです。

○建築主体工事

契約金額 12億4,425万円

完成期限 平成22年11月30日

契約相手方 (株)松田組・(株)殖産工務所特定建設企業体

○機械設備工事

契約金額 3億240万円

完成期限 平成22年11月30日

契約相手方 弘栄設備工業(株)

○電気設備工事

契約金額 2億2,050万円

完成期限 平成22年11月30日

契約相手方 (株)ユアテック



宮内中学校完成予想図

- 厨房機器設備工事  
契約金額 1億5,487万5千円  
完成期限 平成22年11月30日  
契約相手方 ㈱冷凍技術工業所
- 南陽市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について
- 南陽市技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 南陽市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

## 平成21年12月定例会補正予算の概要

補正予算額 **9億598万円**

内訳 ( 一般財源 8,498万円 )  
( 特定財源 8億2,100万円 )

今年度一般会計 **155億4,584万円**に

(単位：千円)

1) 人件費(共済組合負担金)	11,020	主な補正項目	7) 沖郷第二学童保育施設 整備事業費	4,800
2) 財政調整基金積立金	15,881		8) 創意工夫プロジェクト 支援事業費補助金	7,200
3) グリーンハウス藪田 下水道接続工事費	6,500		9) 小学校改築整備事業	50,109
4) 身体障害者福祉事業費	5,106		10) 中学校改築整備事業	710,650
5) 介護雇用プログラム事業費 (緊急雇用)	3,000		11) 学校指定品購入補助金	1,512
6) 障害者自立支援事業	41,563		12) 幼稚園就園奨励費補助金	2,179

### 予算特別委員会による質疑

12月16日、予算特別委員会が開催され、平成22年4月から始まる中学校統合について活発な質問が出されました。  
なお、主な質疑内容については次のとおりです。

#### 一般会計

##### ◎中学校統合について

〈議員〉10月に地区の説明会が終了したと聞いているが、現在も不満や不安があると言われている。各地区の種々の要望に対し、今後どのように対処していくのか。

〈学校教育課長〉各地区の説明会が10月上旬〜10月下旬にかけて終了している。PTA代表や各地区長会会長ともおおむね了解を得たと考えている。各地区からの要望は最大限応えてきたつもりである。平成22年4月から希望を持って新しい学校にいけるよう努めてきた。  
〈議員〉課題となっている冬期間の通学や校歌や校章については、どうなるのか。

〈学校教育課長〉漆山地区の冬期の通学については、バス通で調整している。子供の安全面を考慮し、コースや時刻の設定について保護者代表がバスに試乗して確認してきた。校歌については、(沖郷・梨郷)(赤湯・中川)で現在の1年生が卒業するまでは両校の校歌を歌うこととなった。(吉野・宮内・漆山)は、金をかけないで新しい校歌を作っていきたい。校章はそのまま使用したい。

〈議員〉平成24年開校が平成22年に早まったが、耐震化をもっと早めるべきではなかったのか。

〈教育長〉漆山中については、保護者より早急に対応して欲しい、との強い要望があった。

〈議員〉議会の特別委員会において、中学校統合について基金の積み立てをしてやるべきだ、との意見書が出たはずだが、教育委員会として検討してきたのか。

〈教育次長〉教育委員会としては、優先順位を付けながら進めてきたところである。

〈教育長〉議会の意見書については、教育委員会として十分検討し



沖郷中学校体育館

てきたつもりである。

〈議員〉議会の特別委員会も、内外の視察をとおり14〜15回の会議を経て報告書を提出している。主役は子供であり、今後とも良い学校にして欲しい。

〈教育長〉課題はまだあるが、良い学校にしていきたい。

〈議員〉学校指定品購入補助金151万2千円の内訳はどうか。

〈学校教育課長〉中川中には運動着、梨郷中の女子には制服、漆山中には通学用ヘルメットである。

〈議員〉吉野中学校の生徒に制服や運動着を全て配布したが、今回とどう違うのか。平等ではないのではないか。

〈教育次長〉限りある財源の中で最大限の努力をしてきた。各地区で一番要望の多かったものに応えてきた。現在は、苦情・不満は出ていないと考えている。

〈市長〉全く平等だと思っている。独自性があるって良いのではないか。地域の人が「それで良い」というのであれば、良いのではないか。吉野中の場合は、急だったので対応出来なかったと理解している。

〈議員〉生徒一人当たりの単価が違うのではないか。

〈市長〉赤湯のような大規模校と吉野のような小規模校では比較にならない。小規模校のリスクを少しでも少なくしたい。今後の3校体制をどうしていくのかを考えて欲しい。吉野の生徒は、宮内にいけば各クラス1〜2名なので、「制服が違うと大変だ」ということで教育委員会が配慮してくれたのではないか。

〈教育長〉吉野の場合21年度に宮

内に編入され、22年度にまた制服が変わるのではないか、ということとで今回のような対応となった。

◎沖郷中学校体育館の建て替えについて

〈議員〉沖郷中学校体育館の建て替えを決断したのはいつか。

〈市長〉10月にはつきりした耐震診断結果がでた。補強しようと思ったが、工事の間体育館の使用が出来なくなるので、正式には11月に建て替えを決断した。

〈議員〉大きな問題であり、事前に文厚正副委員長だけでなくでも報告すべきではなかったか。今後は報告して欲しい。

〈教育次長〉報告していない。今後は報告するよう努力します。

◎幼稚園就園奨励費補助金について

〈議員〉幼稚園就園奨励費補助金の内容はどうなっているのか。

〈学校教育課長〉国が1/3、市が2/3補助になっている。

〈議員〉保育園は、どうか。

〈福祉課長〉同様である。

## 市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



市政担当3年間の総括と、  
雪対策について

漆山 鏗 一 議員

◎塩田市長は、就任以来3年4カ月どの様に総括されているか、目指す南陽市の将来像は何か。

〈市長〉政策として掲げたものは概ね達成できた。将来像は平成23年度からの第5次南陽市総合計画を策定の際に振興審議会の意向や市財政計画などを基に平成22年中にまとめた。施策の柱としては、定住率や、出生率増加更には転入人口の増加を目指し「夢はぐくむ将来像」を描きたい。

◎市報での市の取り組みなどは専門用語が多い。もっと市民にわかりやすい表現を。

〈市長〉常に、なるべくわかりやすい表現をと指示はしている。

◎除雪費は平成10年以来毎年予算は同額、市道の延長や市内の車輛数の増加にスライドした予算に。

〈市長〉今冬は歩道を含め987路線、総延長312kmの除雪を計画し南陽市除雪組合に委託している。市民生活に支障のない様に取り組みたい。

◎一人暮らしの方や、高齢者宅玄関先の除排雪をする「雪かき隊」的ボランティアのモデルケースを作れないものか。

〈市長〉市では、高齢者世帯などの雪おろし費支給補助事業を実施している。豪雪時には地元消防団も民生委員と協力しあい活動されている。除排雪ボランティアは共助の精神で自主的に地域の中で取り組めないか話し合っただけで欲しい。市としては、相談いただければ内容を検討したい。



塩田市政の残された課題や  
ハイジアパークの経営等について

梅川 信治 議員

◎塩田市政4年目を迎え、残された課題にどう対応するか。

〈市長〉厳しい財政状況下であるが公約に掲げた事業は概ね実現できたと認識している。財政状況が非常に厳しいが、中学校の統合や学校の耐震対策関係事業が約6億円見込まれるので、国の有利な制度を活用して事業を執行したい。

◎来年の市長選挙の出馬予定は。

〈市長〉来年の市長選挙への出馬だが、残された課題、そして心配なことも多少あるのでその辺を整理し、しかるべき時期にお答えしたい。

◎ハイジアパークに指定管理者制度を導入した効果について。

〈市長〉警備業務や保守点検業務等を一括して管理することによってコストの削減が図られた。指定

管理者制度も導入しているが厳しい経営となっているので役員会等で検討している。近隣に料金の安い競合施設等があり厳しい経営となっているので、料金体系の見直しも含めて検討するよう指示している。

◎今後の施設の改善、補修等の経費の見込みは。

〈市長〉17年も経過し老朽化が目立ち今年1千万円、今後3年間に約3千8百万円が見込まれる。

◎プレミアム商品券の使用状況と第二弾の予定は。

〈市長〉地元商店で約半数の利用があり市内経済の活性化に効果があった。第二弾の実施については、行政のみで出来ないため商工会と詰めていきたい。



ハイジアパーク南陽



本市全体の観光行政のあり方について

高橋 弘 議員

◎本市の観光行政の位置づけについて。

〈市長〉本市では、平成19年度に新「南陽市観光基本計画」を策定し、観光振興を主要な柱と位置づけ事業の推進に鋭意努めている。本市には豊かな自然や文化、歴史などが織り成す風景、農業や温泉といった豊富な地域資源があり、体験や参加によって融合させ、ホスピタリティあふれる地域振興に努める。

◎本市の観光地の結び付について。

〈市長〉旅行ニーズも多様化してきており、本市ではこれらの状況を踏まえ、赤湯駅を拠点に街づくりを進めている。赤湯温泉や熊野大社、ハイジアパーク南陽などの観光施設や桜まつり、バラまつりや菊まつりなどのイベントと併せ、タクシーやレンタル自転車など二



菊まつり

次交通の整備を行いながら観光資源の融合を図っている。

◎ハイジアパーク南陽の入館者数の減少対策について。

〈市長〉四半期毎に報告をしているとおり減少している。料金体系など整備し改善計画に基づいて取り組んでいく。

◎来年の菊まつりに向けた集客対策について。

〈市長〉本年の入場者数は、前年対比で約千名の減少、「天地人」効果を見たが目標とした入場者数には満たなかった。祭りのあり方や予算も含めた抜本的な見直しについて、実行委員会で総括しあらゆる角度から、検討を行い来年に活かしたい。



仕事と生活の調和がとれた社会、安心・安全なまちづくりを

吉田美枝 議員

◎子育てや介護をしながら仕事ができる環境づくり、地域活動に取り組める環境づくりなど、仕事と生活の調和を、市としてどのように推進していくつもりか。

〈市長〉今年中に、県と市長会などの関係団体が、取り組みを推進するための協定を締結することになっており、それらを踏まえて活動を推進していく。

◎母子家庭と同様、生活が苦しい父子家庭への経済支援措置は。

〈市長〉父子家庭を含めた「ひとり親家庭」対策として、相談その他必要な支援を次世代育成支援対策行動計画に位置づけていきたい。

◎災害時要援護者避難支援個別計画策定や、ひとり暮らし高齢者の救急搬送の際などに有効な、救急情報を筒に入れ冷蔵庫に保管する

システム導入を検討して欲しい。

〈市長〉消防署や福祉課など関係機関と協議の上、導入を検討する。

◎認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守るサポーター養成の状況は。

〈市長〉市としても、これまで6回程講習会を開催してきた。指導者として現在2名の職員が活動しているが、今後は居宅支援事業所からの参加も勧奨していきたい。

◎近くに食料品や日用品を扱う店がなく、交通手段を持たない高齢者が買い物に困っている。支援策を講じて欲しい。

〈市長〉高齢者の状況に応じた外出支援対策は今後の重要な課題であり、広く市民の意見を聞きながら具体的な対策を講じていきたい。



救急医療情報キット



「事業仕分け」の影響と雇用対策について

佐藤 明 議員

◎県は、行政刷新会議による「事業仕分け」による影響は、県83事業、市町村への影響は70事業、その他団体への影響は103事業と公表されましたが、市の影響はどうか。

〈市長〉実施を自治体の判断にまかせた事業が15件、予算の縮減とされた事業が20件、廃止などとされた事業7件、見直しとされた事業が11件となっている。その中には地方交付税を始め、里山エリア再生交付金、次世代育成支援対策交付金などが含まれており、事業仕分けの結果がそのまま来年度予算に反映されるとなれば、確実に本市にも影響が出てくると想定している。今後の国の予算編成を注視して参りたい。

◎県の発表でもあきらかなように非正規労働者が126事業所で5,7

89人で労働力人口比率では全国1〜2位をあらそう不名誉な状態が続いています。政府は、「緊急雇用対策」を打ち出しましたが、実効ある抜本的な対策を推進することが急務となっていますが、市の雇用状況の実態はどうか。

〈市長〉毎年、市内に所在する300の民間事業所を対象に調査を実施しており、214事業所より回答をいただいている。その結果、労働者総数4,958人の内、正社員は3,813人で、全体の76.9%、派遣労働者は58人で1.2%となっている。失業者数は79人と推計している。

◎対策はどつするのか。

〈市長〉緊急保証制度により企業の資金繰りを支援するとともに、企業訪問により要望を把握し、首都圏企業との橋渡しを行うなどして、雇用の維持のため市内企業を支援して参りたい。



バイオマス事業と武道授業の取り組みについて

片平 志朗 議員

◎バイオマス資源の活用について市の考えは。

〈市長〉食糧残渣せんざを活用するコンポストの推進や家畜排泄物の堆肥を農地へ投入する事業については、市で助成を講じている。民間レベルでは、企業による食品リサイクル施設の建設や、製材工場の残材建築・建設廃材をチップ化して利活用が行なわれている。資源の効率的活用については、置賜広域行政事務組合で取り組んでいるほか、総合的に課題を検討している。

◎環境保全・循環型社会形成プロジェクトを立ち上げる考えはあるのか。

〈市長〉バイオマスの利活用により、地球温暖化防止や循環型社会の形成に期待される効果は、大きなものがあると考えている。現時

点では、原料生産からバイオ燃料の製造、流通・販売や技術開発など、様々課題が多くあり、また広域的な対策も必要であることから、関係機関との連携を図りながら取り組んでいく。

◎平成24年度から始まる中学校武道教科の取り組みで、武道を教える狙いは何か。

〈教育長〉武道は日本独自の文化であり、我国固有の伝統と文化に親しみながら、礼儀作法や相手への思いやりを重んずる心を学ぶ事が出来ることとして、その狙いが掲げられている。

◎柔道を正課に選定した理由は。

〈教育長〉履修すべき武道の内容は、柔道・剣道・相撲から選択して学習する事になっている。各学校の実情に応じて種目選択し、年間指導計画を作成した上で進めていく。また教育委員会では、人的物的、設備面等での安全確保や保護者の経済的負担を考慮して、各中学校で柔道を行える環境整備を行っている。今後とも武道の狙いに即した教育環境整備の充実を図っていく。



本市に於ける雇用情勢と、  
がん検診率向上等について  
白鳥雅巳 議員

◎本市の雇用情勢と、今後の企業景気動向をどう認識しているか。

〈市長〉内閣府の月例経済報告では、雇用情勢について依然として厳しいとされ、本市においても、当面厳しい状況が続くものと想定され、先行きの不透明感を払拭されていない状況である。

◎新型コロナウイルス流行による医療機関と緊急時体制について。

〈市長〉情報の共有を図るとともに、予防対策や診療体制については、医師会などと連携を取りながら進めており、現在、就学前児童の集団接種も計画している。今後状況に合わせ適切に対応していきたい。

◎子ども手当が実行された場合、市の対象者数と負担額について。

〈市長〉新政権のマニフェストに

よると、受給対象は中学生以下で月額2万6千円で、本市では4、500人弱の児童が対象となり、支給額は14億円程度になる。なお、初年度は半額の月額1万3千円になると報じられているが、市の負担について厚生労働省の概算要求では、全額国費で要求しているが現在の所、何も示されていないのではつきり言えない状況だ。

◎女性特有のがん無料クーポン券が対象者に配布されたが、それを利用した検診状況はどうか。

〈市長〉全体のがん検診率の向上は図られていない状況だ。原因として、基本検診から特定健診への制度変更が影響したと考えている。無料クーポン券を利用した受診は10月末現在、子宮頸(けい)がん受診者は92人で10.2%、乳がん受診者が304人で26.3%になっている。今後も受診率の向上を図っていききたい。



教育問題と安全で安心な  
活力あるまちづくり  
板垣致江子 議員

◎未だに不登校やいじめの問題は全国でも深刻で後を断たない状況。市内中学校も統合を目前にした今、「いじめ、問題行動」等ほどの学校にも起り得るとして対処すべきと考えるが、市内小中学校の現状と今後の取り組みなどは。

〈教育長〉不登校は小学生1名、中学生9名、学校で認知したいじめは1件でした。いじめ、不登校は社会情勢悪化の家庭経済への影響、家族関係、生徒の心身の成長過程での人間関係など様々な要因が複雑に絡み合っている事が多く、それらを早期に把握し対応すべく全職員がそれぞれ指導に努めている。今後も校内体制の強化と関係各機関との連携を密にし児童生徒の心を開く指導と支援、保護者の相談等の一層の充実を図る。

◎友好都市「中国南陽市」とは昭和63年から交流してきたが、これからは観光にも結びつく地域間交流も必要。国内友好姉妹都市の検討は。

〈市長〉中国南陽市とは広範な友好交流事業を展開してきた。今後両市の友好関係は良好に維持。国内姉妹都市検討の視点は、現在の観光物産展などの実績、観光以外の分野など色々な判断材料があり、相手の事情もあるので、慎重のうえにも前向きに検討したい。

◎昭和63年に宣言された「南陽市非核、平和都市」としての活動は、ここ数年は5年毎の事業になっているが市民との協働でも毎年やるべきでは。

〈市長〉宣言の理念の推進のために、「平和」をテーマにした講演、コンサート、映画上映等の事業を行なってきた。今後も、「平和な社会の実現」・「安全で安心なまちづくり」のためにも、「非核、平和都市」宣言の理念の推進を図って行く所存ですので、市民の積極的な活動を市としてもお願いしたい。



みのりある農政を  
求めて

田中 貞一 議員

◎農政事務所は、20年産米の生産費を公表した。10a当り13万5、843円で対前年比9.3%増えたが程んど物材費である。農家は、10a当り約9、800円の赤字である。政府は、戸別所得保証制度の中身も予算も決定しないまま、22年度の生産数量だけ決定した。今年より2万t少ない813万tである。今後、県↓市↓農家へと示される訳だが、その見通しはどうか。

〈市長〉 今年は減反目標を達成している。特裁面積等が伸びている。県は配分方法を前年の手法を踏襲することを決定している。市も同様方法で配分する考えである。

◎減反田に米粉用米や、飼料米を作れば所得が増大する。積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

〈市長〉 主要な減反作物と位置付



つや姫

け、市内全域で推進すると共に、米粉利用拡大に向けた啓発も行う。

◎吉村県知事は、4年間で1.5倍の農林予算を作り、本県農業を確固たる産業にすると頑張っている。本市農業政策も、国、県の政策により大きく左右される訳だが、新年度に向けた新たな取り組みや政策等を伺いたい。

〈農林課長〉本市農業経営は、複合経営により元気がある複合部門をさらに支援拡大する政策を考えていく。

◎本市人口の減少が続く中、第5次総合計画の策定作業が始まったと思うが、人口予測を正確に行ない、無理のない総合計画を作るべきと考えるがどうか。

〈市長〉 定住人口対策は極めて重要だ。人口対策を総合計画の中心に据え、早く成果が見える施策を取り入れていく。

## 常任委員会審査報告

### 総務常任委員会

◎南陽市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税課税免除条例の設定について。

本案は、市内へ工場または事業所を新設する事業者の立地促進を図る優遇措置で、農工法が12月末で期限切れとなるため、新たに固定資産税の課税免除を行うことにより産業集積と企業誘致を図ることを目的としている。免除の対象となる業種は製造業はじめ6業種であり、その事業要件は土地・建物の合計取得額が2億円以上、農林漁業関連業種は5千万円以上で、既存の農工法免除条例の3千万円以上に比べハードルが高くなったこと。当局からは、2億円となっているが土地と家屋の合計額であり、将来に向けての企業誘致としてハードルは高くないと思われる。また、これまでの農工法による免除は西工業団地内しか該当しな

かったが今回の産業集積は市内全域を対象としているとの説明がありました。審査の結果、当局の説明を了とし全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎核兵器の廃絶と恒久平和を求める請願について

本請願は、両院議長、内閣総理大臣、外務大臣に対し、核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年を迎える2010年に開かれる核拡散防止条約（NPT）再検討会議に向けて、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるよう核軍縮、不拡散外交に強力に取り組まれる事を要請するものであり、審査の結果全員異議なく採択となりました。

（委員長 田中 貞一）



## 文教厚生常任委員会

◎南陽市立赤湯学童保育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について。

◎南陽市立総合保健福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について。

両議案は関連があるため一括して審査をしました。

本案は「南陽市立赤湯学童保育施設」と「南陽市立総合保健福祉施設、沖郷わくわくセンター」の2施設に、指定管理者制度を導入するにあたり必要な条項を定めるための条例の一部を改正するものです。

当局より施設開館を午前8時から午後6時30分までとすること。従来使用料であったものを利用料とし、利用料は保護者が直接指定管理者に納入すること等の説明がありました。

委員からは、市内保育園児数、沖郷に第2学童保育施設を設置する場合保育士の配置、更に沖郷わくわくセンターの学童保育以外の

貸し出しは指定管理になっても変わらないのか、との質問が出されました。

沖郷学童保育施設については、定員70名を超えた場合は、こぼと保育園内に第2学童保育を設置し、保育士は、こぼと保育園と兼務の嘱託を配置する。また、施設管理については現在と概ね変わらないが、貸し出しの際の申し込みは指定管理者に対して行なうとの説明がありました。審査の結果、関連する2議案は、当局の説明を了として全員異議なく原案のとおり可決しました。

(委員長 高橋 篤)



沖郷わくわくセンター

## 産業建設常任委員会

◎南陽市企業誘致促進条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、「南陽市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税課税免除条例」の設定に伴い、事業所の設置者に対し奨励金を交付するため改正を行うもの。企業誘致の促進と雇用の増大を図るため、企業が新たに事業所等を「新設」「増設」を行った場合に事業所等について課される固定資産税(免除条例により課税免除された額を除いた額)を限度に奨励金を交付する制度であります。

当局からはこれまでは、農村地域工業等導入促進法(農工法)に基づき、南陽西工業団地が指定されており、その適用期限が平成21年12月31日で終了することを受け、新たに企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律である企業立地促進法に基づき固定資産税課税免除条例の制定と併せての企業誘致促進条例の一部を改正するもの。

また、その課税免除条例の対象区域をこれまで南陽西工業団地のみであったのを市内全域(山林・市街地・自然公園を除く)に適用するものであり、投下資本額は土地、建物、償却資産の合計3千万円を超えるものとしていたが、土地建物の合計2億円超、農村水産業種は5千万円超とするもの、との説明がありました。

委員からは、山形県全体が改正になるのか、市内のどの地域も該当するのか等の質問がありました。審査の結果当局の説明を了とし全員異議なく原案のとおり可決しました。

(委員長 漆山 鏗一)



南陽西工業団地

## 常任委員会管内視察報告

### 文教厚生常任委員会

10月13日日本市小中学校各1校と児童保育施設1カ所の視察を行いました。

荻小学校では、学校全体で取り組んでいること、今後の学校運営方法等の説明があり、なかでも今年度より吉野中学校が宮内中学校との統合により地域の期待が小学校にかかってくるため、地域の方々を取りこんだ活動を行なっているとのことでした。

漆山中学校では、一番生徒数が多かった時期は400名現在は70名の生徒数であるとのことでしたが、保健体育以外はすべて専門教科で小規模校にしては恵まれ、また週1回教育相談員も来てもらっているとのことでした。来年4月からの統合に向けて様々な取り組みがされ、『二人一人の笑顔が輝く明るい学校、歌声が響く学校』の漆中の伝統を、新宮内中学校にも引

継いでいくことも大切だと感じました。

宮内児童保育施設では、定員70名に対し現在37名の入所であり開所当初は51名の児童数であったが、雇用情勢の悪化が第一の原因であると思われる。今後開所時間や、現在土曜日月2回をもっと拡大する事等弾力的に検討したいとのことでした。市内初めての民設民営で軌道に乗るまではもう少し時間がかかるのではと感じてきました。

(委員長 高橋 篤)



漆山中学校

### 産業建設常任委員会

10月16日、国道399号線の南陽市区分、東北中央自動車道南陽工区予定地、下水道赤湯中継ポンプ場、新潟山形南部連絡道路(梨郷道路)、「日鉦里山・龍樹の森づくり」の整備予定地の視察をしました。

東北中央自動車道は、深沼から松沢、大洞を通り上山迄の24.4kmの自動車道で、南陽市からは約7.5kmの南陽高島インターチェンジと、山形上山インターチェンジを結び、時速100km対応の道路で平成30年に完成させたい等、建設課及び東日本高速道路(株)山形工事事務所職員から説明を受けました。

赤湯中継ポンプ場は、地形的に自然勾配では流せない赤湯地区や柗塚地区の一部区域を集水し送水する揚水施設で、一日平均約760m<sup>3</sup>から800m<sup>3</sup>の排水量があるとの説明を受けました。

梨郷道路は梨郷竹原から飯豊町添川迄の7.2kmの道路で、平成30年に完成予定で一日11,000台の通行量が見込まれ、①時間短

縮、②燃料、③事故の減少の3効果が見込まれ、更には公立置賜総合病院へのアクセスも更に良くなる等の説明を受けました。

梨郷地区治水対策事業は、梨郷巻地区の県道梨郷下伊佐沢線沿いに500mの特設堤を設置することで大雨の際の地区民の生活道路を確保するものです。

龍樹の森づくり事業は、総合公園から入る龍樹山に里山、癒しの森エリア、四季の森エリアとして整備し遊歩道や展望台や「あずまや」などを設置し、生態系の観察もでき、花や実を楽しみながら家族や団体が置賜平野一帯の水田地帯や散居集落を一望できる計画で、日鉦金属(株)からも資金提供を受け整備するものです。

(委員長 漆山 鏗一)



東北中央自動車道説明

## 委員会行政視察報告

### 議会運営委員会

11月17日から19日まで三重県鳥羽市及び伊賀市の行政視察を行いました。

鳥羽市は伊勢志摩国立公園内の志摩半島に属し、西を伊勢市、南を志摩市に接する外は海岸線で、海岸はリアス式海岸で温暖な気候に恵まれております。愛知県田原市が対岸にあり、鳥羽の神島(三島由紀夫の小説潮騒の舞台)は鳥羽、田原双方と船便で結ばれております。平成19年に議会としての行政政改革推進委員会を設置し、当局の集中改革プランと並行して進め提言書を出し、翌年議会活性化委員会を設置し改革をやっておりますが来年6月に議会基本条例を制定したいとのことでした。

伊賀市は三重県の北西部に位置し北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しています。中部圏、近畿圏の中間に位置し、地形は鈴鹿山

系、大和高原、布引山系に囲まれた盆地で丘陵地が多く、近年は丘陵地に住宅団地も形成されております。伊賀市議会は開かれた議会全国一位となったことで全国各地からの視察者が3千人を超えている議会で、全国初の市議会基本条例を平成19年2月28日に制定し、議会がするべき事柄を具体的に示しておりました。合併した伊賀市、合併出来なかった鳥羽市、比較でき有意義な視察でありました。

(委員長 小野健一郎)



### 議会報編集委員会

10月28・29日と秋田県仙北市に議会報の研修視察を行いました。仙北市は10月に南陽市民会館自主事業「奥の細道」を公演した「わらび座」のある市で、平成17年に旧田沢湖町・旧角館町・旧西木村が合併し市となりました。

人口3万1千人、面積1,093km<sup>2</sup>と南陽市の12倍もの面積を有するがその8割が森林地帯とのこと。しかし、その自然が八幡平や田沢湖など豊かな観光資源となっているのです。

仙北市の議会だよりはフルカラーの16頁で、予算等のグラフや写真も大変見やすく豪華な議会だよりだなと思いましたが頁単価はそれ程違いはなく驚きました。

16頁の内容はその号その号で型にとらわれる事なく、議会広報編集特別委員会の9名の議員で検討され、予算や議案、一般質問等ほぼ使われる号、レポート特集や市民インタビュー、会派紹介など様々な記事が多い号など、市民が

興味をもって読みたい議会だよりとなっておりました。

17年の合併以来、事務局は一切ノータッチで議員自ら企画、全ての原稿を編集委員で書いている事そのバイタイプにも驚きました。多くの見習うべき点があり大変勉強になりました。帰りに角館の町並を歩いてきましたが観光客の多さにも感嘆してきました。

(委員長 板垣致江子)



## 置賜広域病院組合 議会報告

置賜広域病院組合議会10月定例会が、平成21年10月26日南陽市議場で開催されました。

提出された議案は、平成20年度置賜広域病院組合病院事業会計決算、平成21年度病院事業会計補正予算（第1号）他1件の3件で、原案のとおり可決されました。

なお、平成20年度病院事業会計決算の概要は、まず患者数の実績は、外来患者は延べ36万2,394人で前年度と比較して、延べ患者数で2万7,019人、1日平均で100.1人の減少でした。



青梅市立総合病院小児病棟

また、入院患者数は延べ22万6,488人で、前年度と比較して延べ患者数29,441人1日平均で2.6人の増加でした。

次に、収益的収入は13.1億8,603万1千円、収益的支出は13.7億8,113万5千円となり当年度純損失は5億9,510万4千円でした。

医業収支の状況は、外来収益では外来患者数が前年度と比較して7.0ポイント低下し減収となったが、入院収益において入院患者数が前年度と比較して0.1ポイント、病床利用率で0.4ポイント増加した結果、医業収益全体では増収となり、医業収支比率87.1%と前年度より1.3ポイントの改善が見られた。

資本的収支における支出のうち建設改良費は、医療機器整備事業の3億9,844万9千円です。

構成団体負担金は合計32億8,110万円で、前年度比1億6,049万6千円の減少となった。

### 議員視察研修報告

地域の基幹病院で公立置賜総合病院と同程度の規模を有し、救急

医療を担い、経営的にも優良である病院の運用実例を調査をし、地域医療のあり方等の検討、推進する目的で平成21年11月9・10日に、東京都の青梅市立総合病院を視察研修しました。

青梅市立総合病院の属する西多摩医療圏には、療養型病院や福祉施設は多いが急性期病院は少ないため、全診療科に専門医を配置し、先進医療機器を設置し、急性期・高度医療の推進に役立っている。特に救急医療に関し国の救命救急センターの指定を受け、主として二次、三次救急に対応しているが、起伏の多い地形と広い医療圏を考慮し、ヘリ救急にも本格的に取り組んでいる。また、伝染病、結核、エイズ、難病、障害者歯科、未熟児医療、精神科合併症などの特殊医療にも対応できる体制を整備し、公立病院の使命である高度、特殊、先駆的、不採算医療を中心に、地域に信頼される医療を目指しており、29診療科562病床で13年間連続の経常収支黒字決算であり、有意義な研修でした。

（置賜病院議会議員 松木 新一）

## 議会を傍聴してみませんか!!

原則として中学生以上の人であればどなたでも議会を傍聴することができます。次回の定例会は3月に召集される予定です。詳しくは議会事務局まで問い合わせください。

TEL 40-3211

内線303

市民の皆様の傍聴をお待ちしております。



## 置賜広域行政事務 組合議会報告

11月27日定例会を開催し、6案件が上程され、可決されました。その中で主な案件は次のとおりです。

◎平成20年度置賜広域行政事務組合一般歳入歳出決算について

歳入総額50億1,434万2,804円、歳出総額49億3,752万5,109円となりました。

◎置賜広域行政事務組合浅川最終処分場増設工事請負の締結について

現在の浅川最終処分場が平成23年度で満杯になることから、隣地に処分場の増設をするものです。入札の結果、太田・福島特定建設工事共同企業体に落札しました。請負工事金額は、8億6,625万円。

(置広行政議会議員 片平 志朗)

## 置賜二市二町議員 親善交流会の報告

10月19日置賜二市二町議員親善交流会が開催され、研修の部では、有機ELの権威である山形大学教授の城戸淳二氏を招き、「有機ELと地域活性化」と題しての講演を聞きました。有機ELの活用は無限で、地域や産業の活性化に大いに期待できる内容でした。またスポーツ交流の部では、置賜広域交流拠点施設「ゆるっと」の脇に整備された、プラザパークゴルフ

## 平成21年12月定例会 請願審査結果表 H21.12.21

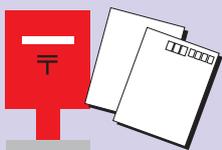
付託委員会	件名・請願者	審査結果
総務	核兵器の廃絶と恒久平和を求める請願について 米沢市塩井町塩野1-1 日本労働組合総連合会 置賜地域協議会(連合置賜) 議長 金子 浩	採択



場で、市町ごとの団体戦形式でプレーを楽しみました。中にはカップのまわりを行ったり来たりと、苦戦する姿がありました。

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため)自筆によるものを除く、諸行事、会合での一切の寄付などは行っておりません。

市民のみならず、  
みんなのご理解とご  
協力をお願いいた  
します。



公職選挙法の規定を守り、  
虚礼廃止を申し合わせて  
います。

## 編集後記

新年明けましておめでとうござ  
います。

世界的な金融危機と深刻な景気悪化の中での昨年のスタートから状況はますます厳しくなり、様々な不安材料を抱えた年明けとなつてしまいました。

政権は交代したものの短期間で良くなれるはずはなく、長い目で見守り、今年が良い年にと希望を持つて前向きに歩まざるを得ないと思うところです。

議会だよりもより多くの皆様に関心を持って読んでいただける紙面になるよう委員一同努力をしていきたいと思ひます。

市民の皆様のご健康をお祈りいたします。

- 委員長 板垣致江子  
副委員長 川合 猛  
委員 白鳥 雅巳  
委員 片平 志朗  
委員 松本 新一  
委員 桑原 仁